

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『税金を払うことで救われる命』

町田市立薬師中学校 3学年 伊藤 見依奈

一年前、総合の時間に社会人になったら給料から約二〇パーセントが所得税と住民税の二つの税金として引かれることがわかった。なぜこんなに税金を払わなければいけないのか、それはどんなことに使われているのかと疑問を抱いた。そこで両親の話聞き自分でもインターネットで調べたことにより税金に対する思いは変わった。

私の母は、私がお腹にいるとき妊娠七ヶ月で早産の一手手前である切迫早産で入院した。病院ではトイレや洗面以外は一日中ベッドの上で点滴を二十四時間受ける生活をしていて。妊娠十ヶ月になるまでその生活を送る予定だったが妊娠八ヶ月に入った頃、胎動を感じなくなり、お腹の中の私も動いてなかったため緊急帝王切開で出産することになった。そして、二〇〇九年十二月二十日予定よりも二ヶ月ほど早く生まれた。早く生まれたため身長三十七センチ、千七百七十四グラムと平均より十三センチ、二千グラムほど小さく自力で呼吸ができなかった私は生まれてすぐにNICUに入った。NICUでは新生児を専門に治療する医師や看護師が二十四時間体制でお世話をしてくれた。NICUでは赤ちゃんの命を守るために呼吸を助ける「人口呼吸器」、呼吸や心拍数、血圧などを観察するため

の機械、必要な薬や水分を入れる「動静脈ライン」、ミルクなどを飲ませるための「栄養チューブ」などたくさん機械が使われている。そのため、NICUでの治療や管理には一日十万円ほどの費用がかかると言われている。私の場合、六十八日間NICUに入っていたので六百八十万円ほどの費用がかかるはずだが、親は費用はゼロ円だったと言っていた。なぜなのか調べてみると、保険適用や医療費の助成制度により、税金を財源とした医療補助を受けられることがわかった。助成制度の種類として、乳幼児医療費助成制度と未熟児養育医療制度がある。NICUの費用の一部は、東京都に住んでいて一定の収入がある人が払う都民税を財源とした医療費制度から支払われていることがわかった。

税金のおかげでNICUでの看護師さんたちの手厚い医療を受けることができ、私はあれから障害もなく大きな病気もせず元気に過ごせている。私は両親の話やインターネットで、NICUでの費用は実際に会ったこともない人たちが支払った税金から出ていることを知り、税金のありがたさを実感することができた。税金はNICUの他にも医療の様々な面で使われていて、たくさん人の命を救っている。自分が稼いで払った税金が命を救っている、そう考えると将来税金を払うことはとてもいいことのように思えてきた。将来私も税金を払うことになるだろう。その時は命を救ってくれてありがとうという想いを込めて納税したい。